

## みさき小学校作品展 鑑賞ガイド

小学校の6年間で、子どもの造形力や発想力は飛躍的に上達します。ぜひ、低学年から順に鑑賞していただき、子どもたちの成長をご覧ください。

|    |   |
|----|---|
| 1年 | <p><b>「どうぶつのかお」</b><br/>「はさみ」や「のり」の使い方の基礎をしっかりと学んだ後で、応用編として制作しました。</p> <p><b>「いもほりめいじん」</b><br/>自分でサツマイモを掘った感動を忘れないように、その日のうちに、一気に描き上げました。</p> <p><b>「ねんどであそぼう」「ともだちのかお」</b>も展示中です。</p> |
| 2年 | <p><b>「はじめての土粘土」</b><br/>土粘土は油粘土に比べ乾きやすく、制作にスピードが求められます。また、粘土同士がくっつきにくいために、はじめて土粘土に挑戦した児童にとっては、たいへん難しい制作となりました。</p> <p>割れやひびが入りにくい「ひねり出し」での制作を指導しています。</p>                              |
| 3年 | <p><b>「なりきり仮面」</b><br/>低学年のうちに「はさみ」や「のり」を自由に使いこなせるようになってほしいという願いで、本題材を設定しました。また、遊び心をもって意欲的に制作に取り組めるように、好きなキャラクターや動物になりきるためのお面づくりとしました。芯材には丈夫な紙皿を使い、裏面にはゴム紐が取り付けられています。</p>              |

|    |   |
|----|---|
| 4年 | <p><b>「ギコギコトントン」</b><br/>3年生で学習した釘打ちと4年生で学ぶノコギリの技術を組み合わせて壁飾りをつくりました。コルク板にはメモを貼って掲示板として活用できます。</p> <p><b>「ひみつのすみか」</b><br/>ベースとなる共通材料に、各自が自然の素材を組み合わせ、個性豊かな「すみか」を制作しました。</p> |
| 5年 | <p><b>「モノクロ細密画」</b><br/>水性ペン1本で、どこまでリアルに描き込めるか挑戦しました。描画方法の工夫にご注目ください。</p> <p><b>「プレートランチ」</b><br/>紙粘土、水彩絵の具、水性ニスだけを使って、リアリティを徹底的に追求しました。食品の素材感を忠実に再現した力作が揃っています。</p>        |
| 6年 | <p><b>「石ころアート」</b><br/>地元産の石ころにアクリル絵の具で命を吹き込みました。細部に至る丁寧な彩色にご注目ください。</p> <p><b>「1枚の板から」</b><br/>電動ノコギリを使いこなして壁飾りを制作しました。無駄のない木取り、丁寧なくり抜き作業、モチーフを生かした彩色がみどころです。</p>          |

### <鑑賞時の留意点>

- ・子どもたちが心を込めて制作した作品です。壊れやすいものも多くありますので、作品には手を触れずに鑑賞してください。
- ・カメラ等で作品を撮影しても構いませんが、Web上へのアップは個人情報保護の観点からご遠慮ください。

### 「一人一人の表現を大切に」

本校第1回の学習発表会へのご参観ありがとうございます。せっかくのご来校の機会に、この秋にかけての学習の様子的一端もご覧いただきたいと考え、「作品展」を各教室廊下で実施することといたしました。図画工作科の作品を中心に、廊下でのご鑑賞となりますが、体育館での学習発表と合わせて、前後の時間にご鑑賞ください。“世界に一つ”の力作揃い、授業中の子どもたちの思い悩み、熱中する姿を思い浮かべながら、ご覧いただければ幸いです。

校長 永井孝夫

### 「次へつながる指導をめざして」

美術教師として長年にわたり、子どもたちの造形活動に関わってきました。今春から本校の全校児童に授業を通して図画工作の楽しさを伝えています。1年生から6年生までの全員を丸ごと指導できることの重責を感じながら、密かに彼らの成長を楽しんでいます。

子どもが造形活動を楽しく続けるためには、幼い頃から適切な時期に基本となる造形力を順序よく増やしていくことが大切です。全校児童を指導できるメリットを生かし、つながりのある指導をめざしています。

図画工作科 河合康博

## 作品展

# 鑑賞ガイド



## みさき小学校